

14 ページ

表 11

分類	内容・項目	2020 の目標値	ベースライン	2010 の目標	2000 の目標
OH-1	(小児と青少年の口腔保健)				
	OH-1.1 う蝕経験者率の減少	30.0%	33.3% (1999-2004)	11%	
	OH-1.2 3-5 歳 (乳歯)	49.0%	54.4% (1999-2004)	42%	35% 以下
	OH-1.3 6-9 歳 (乳歯+永久歯)	48.3%	53.7% (1999-2004)	51%	60% 以下
	OH-1.3 13-15 歳 (永久歯)				
OH-2	(未処置歯保有者率の減少)				
	OH-2 未処置歯の保有者率の減少				
	OH-2.1 3-5 歳 (乳歯)	21.4%	23.8% (1999-2004)	9%	20% 以下
	OH-2.2 6-9 歳 (乳歯+永久歯)	25.9%	28.8% (1999-2004)	21%	15% 以下
	OH-2.3 13-15 歳 (永久歯)	15.3%	17.0% (1999-2004)	15%	
OH-3	(成人の口腔保健)				
	OH-3 未処置歯保有者率の減少				
	OH-3.1 35-44 歳	25.0%	27.8% (1999-2004)	15%	15% 以下
	OH-3.2 65-74 歳	15.4%	17.1% (1999-2004)		
OH-4	OH-3.3 75 歳以上	34.1%	37.9% (1999-2004)		
	OH-4 う蝕と歯周病による永久歯抜去経験者率の減少				
	OH-4.1 45-64 歳	68.8%	76.4% (1999-2004)	42%	45% 以上(成人)
OH-5	OH-4.2 65-74 歳	21.6%	24.0% (1999-2004)	(成人)	
	OH-5 中・高度歯周病をもつ成人割合の減少				
OH-6	OH-5.1 45-74 歳	11.4%	12.7% (2001-2004)	14%	15%
	OH-5.2 中・高度歯周病をもつ成人割合の増加	35.8%	32.5% (2007)	50%	10.5% (死亡率)
OH-7	(予防サービスへのアクセス)				
	OH-7 過去に口腔保健医療システムを利用した小児・青少年・成人の増加	49.0%	44.5% (2007)		
OH-8	OH-8 過去に予防歯科サービスを受けた低収入家庭の小児・青少年の割合の増加	29.4%	26.7% (2007)	57%	
	OH-9 口腔保健部局を持つ学校保健センターの割合の増加				
OH-9	OH-9.1 小窩裂溝充填を勧める	26.5%	24.1% (2007-2008)		
	OH-9.2 歯科治療を勧める	11.1%	10.1% (2007-2008)		
	OH-9.3 フッ化物塗布を勧める	32.1%	29.2% (2007-2008)		
OH-10	OH-10 口腔保健部局をもつ地域保健局・州立保健センター割合の増加				
	OH-10.1 口腔保健医療プログラムをもつ州立保健センターの割合の増加	83.0%	75% (2007)		
	OH-10.2 口腔保健予防もしくは医療プログラムをもつ地域保健局の割合の増加	28.4%	25.8% (2008)		
OH-11	OH-11 毎年州立保健センターを受診する患者の割合の増加	33.3%	17.5% (2007)		
	(口腔保健介入)				
OH-12	OH-12 白歯に小窩裂溝充填を受けた小児・青少年の割合の増加				
	OH-12.1 3-5 歳	1.5%	1.4% (1999-2004)		
	OH-12.2 6-9 歳	28.1%	25.5% (1999-2004)	50%	
	OH-12.3 13-15 歳	21.9%	19.9% (1999-2004)	50%	
OH-13	OH-13 至適フッ化物濃度添加水道水供給人口割合の増加	79.6%	72.4% (2008)	75%	
	OH-14 歯科診療所で予防介入を受けた成人の割合の増加				
OH-14	OH-14.1 過去にタバコ減少か喫煙中止を、歯科医師や歯科衛生士により情報を受けたことのある成人の割合の増加				
	OH-14.2 過去に口腔がん、咽喉がんのスクリーニングを、歯科医師や歯科衛生士により受けたことのある成人の割合の増加				
	OH-14.3 過去に血糖コントロールのテストや照会を、歯科医師や歯科衛生士により受けたことのある成人の割合の増加				
OH-15	(監視・サーベイランスシステム)				
	OH-15 口腔・口蓋裂登録の乳児・小児の登録、および頭蓋顔面先天異常のリハビリチームへ照会システムをもつ州・ワシントン DC 数の増加				
	OH-15.1 口腔・口蓋裂の登録をもつ州・ワシントン DC 数の増加				
OH-16	OH-16 口腔・口蓋裂の照会システムをもつ州・ワシントン DC 数の増加				
	OH-16 口腔・頭蓋顔面保健サーベイランスシステムをもつ州・ワシントン DC 数の増加	51 州 (50 州 + 1 地区)	32 州 (2009)		
OH-17	OH-17 公衆衛生訓練を受けた歯科専門家に指導された公衆歯科保健プログラムをもつ保健局の増加				
	OH-17.1 公衆衛生訓練を受けた歯科専門家に指導された公衆歯科保健プログラムがある 25 万人以上の住民を管区とする州 (ワシントン DC 含む) および地域保健局の割合の増加	25.7%	23.4% (2009)		
	OH-17.2 公衆衛生訓練を受けた歯科専門家に指導された公衆歯科保健プログラムがある 3 万人以上の住民を管区とするインディアン保健サービスおよび部族保健プログラムの地区数の増加	12 地区	11 (2009)		

(US Department of Health and Human Services: Healthy People 2020 : <http://www.healthypeople.gov/2020/about/default.aspx> より中译作成)

追加情報 (2013 年 8 月 20 日)

175 ページの枠内に下記の内容を追加いたします。

<p>市販フッ化物洗口剤 (ミラノール、オラプリス) について、2013.8.20 付で独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) ホームページで、フッ化物イオン (F⁻) 900ppm が週一回法に適応できるとする改訂添付文書が掲載された。したがって、従来の 250ppm、450ppm に加え次の 900ppm が加わった。</p>	
(ミラノール)	(オラプリス)
900ppm : 1包 1.8g を水 100mL に溶解する	1包 1.5g を水 83mL に溶解する